
詩を、書きたくなって(詩集)

片桐 彩華

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

詩を、書きたくなって（詩集）

【Nコード】

N2842D

【作者名】

片桐 彩華

【あらすじ】

気の赴くままに書いた、詩集です。思いついたものを、思いついたままに。

—アイツ—

冷たい言葉を裏返して
わかったことといえば
それは照れ隠しで
実は温かいもので

隣はとても居心地が良かったから

未だに私は動けないでいるのです

—いつかの事—

思い出すのは
真っ黒な空の下
独りぼっちの自分

今思えば

『独り』じゃなくて『一人』だったんだろう
君がいたことに気付かなかったただだから

—しょうがない—

諦めが肝心だなんて

諦めてはっかじゃどうしようもない

― テント ―

その空間は

狭いけど静かで暖かい

たまには孤独に甘やかされてみて

少しだけ 少しだけ

お日さまが笑ったら

また頑張ってみよう

― るん、るるる ―

気分がいいから歌を歌おう

るん、るるる

窓から見える空は真っ青で

とても綺麗だから

歌を歌おう

るん、るるる

少しぐらいハズれたっていいでしょう

歌いたいから 歌うの

るん、るるる…

今日はいい天気で気分がいいから

この声が掠れるなんて
瞳から雫が零れるなんて
胸が痛いなんて

全部　　ウソだよ

今日は雲一つない青空だから

るん、るるる。***

—あいしてる—

あの日の君の顔がよぎる
なにも言えずに

ただ見つめるだけの僕に
がっかりした顔をして
スウツと涙を流した君

きつと明日にはもう他人
でも　僕は

しっかりと、真っ直ぐに
ただ心から君を愛してる

『あなたがすきでした』

（後書き）

意味が分からなかったらごめんなさい。何か感じるものがあつたら、幸いです。最後の詩はもうなんか無理やり感たつぷりです。携帯からなのですが、PCからもちやんと分かるでしょうか？……………タテヨミ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2842d/>

詩を、書きたくなって(詩集)

2011年1月16日00時36分発行